

平成30年度 事業計画書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

公益財団法人京都市体育協会

平成30年度 事業計画

I. 事業方針

平成30年度は、京都市のスポーツ施設において第4期指定管理者の公募及び平成26年度に策定した中期経営計画の最終年度にあたり、事業の総仕上げとこれまでの成果を振り返る重要な年となる。

また、京都市の「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画に基づいた外郭団体のあり方の抜本的な見直しにおいて、本会は自律化の方向性が出されていることから、更なる経営基盤の強化を図り、自律化に向けた準備を進めていく。

こうした状況のなか、市民スポーツの普及・振興を担う存在として、事業の質及び市民サービスの質の向上にこれまで以上に努め、信頼される公益財団法人として豊かなスポーツの機会を提供することを目指す。

II. 事業計画

1. スポーツの振興事業（公1）

（1）競技力の向上事業

ア 競技力向上事業

a 競技団体実施

京都市のジュニアから社会人までの上位選手の競技力をより一層高め、更に競技運営に不可欠な審判員の技術を高めることを目的に、加盟団体をはじめとする競技団体等が実施する、強化練習会や審判講習会に対し助成する。

b ジュニア育成事業

オリンピックなどで活躍するスポーツ選手を夢見る京都の子供たちを対象に、夢をかなえる場を提供し育成するとともに、京都全体の競技力向上を図る事業を実施する。

イ 指導者養成事業

a 講座の実施

トップアスリートを目指すジュニアの指導者やスポーツ活動を支える指導者に対して、より高い知識を習得することを目的に、トップアスリートやトップアスリートの指導経験者などを講師に迎え、スポーツ傷害やトレーニング、ケガの予防と応急措置、栄養学などのテーマを設けて指導者養成講座を実施する。

b 競技団体実施

加盟団体をはじめとする競技団体等が指導者の資質向上を目的に実施する指導者研修会などの事業に対し助成金を交付する。

ウ 京都市民総合体育大会開催事業

本事業は、市民の体力向上と健康の保持増進を図り、明るく豊かな市民生活に資することを目的として、広く市民が参加できる競技大会を実施する。

また、大会の一部に「関西マスターズスポーツフェスティバル」の冠を付けて実施する。

エ 京都府民総合体育大会派遣事業

本事業は、京都府が定める京都府民総合体育大会開催基準要綱に則り、市町村対抗競技大会や市町村交流種目大会、マスターズ大会に選手を派遣する。

本大会での上位を目指すことを目的として、市町村対抗競技大会に参加する競技団体に対して派遣補助金を交付する。

オ 都市間交流スポーツ大会交流事業

本事業は、京都市、大阪市、神戸市、横浜市、名古屋市の各市体育協会が、都市対抗形式での競技大会を通じて各都市スポーツ団体間及び市民の交流促進を図り、競技力の向上と青少年の健全育成など、スポーツの普及に寄与することを目的に、毎年7月に輪番制で開催する。

平成30年度は京都市で開催を予定しており、京都市代表選手の選考と競技運営を行う。

<大会名> 第15回都市間交流スポーツ京都大会

<開催地> 京都市

<期間> 平成30年7月7日(土)から7月22日(日)まで

<種目数> 12種目

カ 国際スポーツ交流支援事業

競技団体等が実施する諸外国との各種交流大会等を支援することにより、友好・親善を深めるとともに、競技レベルの向上を図り、スポーツの普及・振興につなげる。

(2) 生涯スポーツの普及・振興及び支援事業

ア スポーツ普及事業

広く市民に対しスポーツの普及・啓発活動を行い、スポーツへの関心を高めるとともに、スポーツに親しむ「きっかけづくり」事業として、多様な市民のスポーツニーズに応えるプログラムを提供し、生涯スポーツの普及・振興を図る。

*京都ツーデーウオーク *京都スポーツ写真コンクール *スポーツ講座

イ スポーツ活動支援事業

「みるスポーツ」「支えるスポーツ」の取組として、広く市民のスポーツ活動を支える団体に対して、活動場所の確保、広報等を支援することで、市民スポーツの普及・振興を図る。

*スポーツ活動スペース提供事業

ハンナリーズアリーナ「スタジオダッシュ！」 宝が池公園運動施設「多目的スタジオ」

*ビッグゲーム等支援事業

*後援・共催などの名義使用 など

ウ 全国健康福祉祭選手選考事業

高齢者を中心とする幅広い世代のスポーツと文化、健康と福祉の総合的な祭典として実施される全国健康福祉祭について、京都市代表選手の選考会を実施する競技団体に対し助成する。

<大会名> 第31回全国健康福祉祭とやま大会

<開催地> 富山県

<期日> 平成30年11月3日(土・祝)～6日(火)

<種目数> 27種目

(3) スポーツ情報提供及び調査研究事業

ア スポーツ情報提供事業

京都市域を中心に開催される大会情報やスポーツに関する幅広い情報を収集し、広く市民に提供する。

- *ホームページ
- *スポーツ情報誌「ダッシュ！」
- *広報誌「きょうとスポーツ」
- *facebook（目標値 Facebook いいね！数 1,600）
- *市民しんぶん
- *バナー告知 など

イ 調査研究事業

スポーツ施設の利用者の利便性の向上のため、スポーツ施策等についての調査・研究を行い、市民スポーツの普及・振興を図る。

2. スポーツ活動拠点の運営事業（公2）

(1) 地域のスポーツ活動振興事業

ア エンジョイスports

競技団体等が実施するスポーツ教室を本会が支援することで、競技人口の拡大を図り、地域のスポーツ振興につなげる。

イ みんなのスポーツフェスタ

西京極総合運動公園を中心に、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が気軽にスポーツに親しめる機会を提供し、市民の健康増進とスポーツの普及・振興に寄与する事業を実施する。

ウ スポーツチャレンジデー

プロのスポーツ選手などトップアスリートに教えてもらう機会を提供することで、スポーツの楽しさとスポーツをする「きっかけづくり」となる事業を実施する。

エ プロを含むトップレベルのスポーツとの取組

西京極総合運動公園を本拠地とする地域密着型プロスポーツチームをはじめ、トップレベルのスポーツに身近に触れることができる機会を提供するとともに、競技者だけでなく、観戦・応援する人も楽しめる機会を創出するため、関係団体と連携し、「みるスポーツ」の振興に取り組む。

オ 地域との連携協働事業

スポーツ施設に隣接する地域と連携し、スポーツに親しむ「きっかけづくり」となる事業を実施する。

- *西京極さくら祭り
- *京都五山送り火鑑賞会
- *お正月施設開放事業

(2) スポーツ施設の運営事業

ア 施設の貸与

「だれもが、いつでも、どこでも、いろんなかたちでスポーツに親しめる環境を、みんなで支えあう『スポーツごころ』を結ぶまちづくり」の理念のもと、子どもから高齢者までの誰もが年齢や個性、環境に応じて楽しめる「するスポーツ」と、プロスポーツをはじめ、トップレベルのスポーツに身近に触れることができる「みるスポーツ」の拠点となるスポーツ施設を個

人や団体等に対し貸与する。

a 管理施設の概要

○屋外大規模施設

- *西京極総合運動公園（陸上競技場兼球技場・補助競技場・野球場（わかさスタジアム京都）・京都アクアリーナ）
宝が池公園（球技場・テニスコート・フットサルコート）

○屋内大規模施設

- *京都市体育館（ハンナリーズアリーナ）及び市民スポーツ会館
武道センター（主競技場・補助競技場・旧武徳殿・弓道場・相撲場）
横大路運動公園（体育館・グラウンド・アーチェリー場）

○地域体育館

- *左京地域体育館、伏見北部地域体育館

○野球場、グラウンド関係施設

- *一乗寺公園、岩倉東公園、下鳥羽公園

○野球場、グラウンド関係施設（テニスコート併設分）

- *岡崎公園、桂川緑地久我橋東詰公園、西院公園（テニスコートのみ）
三栖公園（フットサルコートあり）、京北運動公園

b 太陽光発電屋根貸し制度による環境への取組

岩倉東公園において、京都市が行う太陽光発電屋根貸し制度を活用した環境への取組を行う。

c 京都府・市町村共同公共施設案内予約システムの運営

京都市スポーツ施設の利用に関し、インターネットや携帯電話、スポーツ施設に備え付けの端末機により利用予約や空き状況の閲覧が行える「京都府・市町村共同公共施設案内予約システム」の管理運営を行う。

d 大型映像装置操作サポート事業

専門的な知識が必要となる西京極総合運動公園内（陸上競技場・野球場）の大型映像装置について、大会主催者側から依頼があった場合、専門スタッフを手配しサポートする。

イ スポーツ施設の改善等事業

多くの市民が利用するスポーツ施設を安全快適に利用するため、競技団体や利用者アンケートなどをもとに、安全対策や老朽化のための改善策を検討する。

(3) 第4期指定管理の応募（新規）

本会は、指定管理者制度による市内スポーツ施設の管理運営を行っているが、平成30年度は第3期目の最終年度となり、年度中に第4期の募集・選定が行われる。

本会としては、市民スポーツ振興の拠点である西京極総合運動公園を最重要施設として位置付けるなど、応募方針に基づき準備を進め、応募施設の選定を目指す。

3. 収益事業（収1）

（1）スポーツ施設収益事業

- ア 共同事業体が主催するスポーツ教室
（西京極総合運動公園、宝が池公園運動施設、横大路運動公園）
- イ スポーツツアー
- ウ 自動販売機設置事業
- エ 有料駐車場管理事業
- オ 物品の販売及び貸与事業
- カ 広告事業（わかさスタジアム京都、陸上競技場など）

4. その他の事業

（1）中期経営計画に基づく事業

平成26年度に策定した中期経営計画の最終年度を迎え、これまで実施した事業の検証を行うとともに、新たな計画策定に向け準備を進める。

- ア 事業の質の向上
- イ 魅力あふれるスポーツの場づくり
- ウ 情報提供の機能強化
*Facebook いいね！数 目標値 1,600（再掲）
- エ 組織基盤の強化
*賛助会員の拡大

（2）スポーツ表彰事業（他1）

永年の地道な努力などにより市民スポーツの充実・発展に功績があった個人を表彰する。

<功労賞>

競技団体の役員として組織運営に尽力し、京都市におけるスポーツの普及振興に貢献したもの

<優秀サポート賞>

指導者、競技役員、その他競技団体の構成員として、ひたむきな活動を通じて事業や競技運営・発展に特に功績があったもの

（3）環境への取組

- *K E S（環境マネジメントシステム）ステップ1の推進
- *エコステーションや落ち葉の堆肥作りなどの地球温暖化対策
- *エコキャップのリサイクル、テニスボールのリユースによる社会貢献活動
- *京都市が行う次世代自動車の充電設備などの積極的な協力
- *太陽光発電屋根貸し制度による環境への取組（再掲）
- *雑がみの分別・リサイクルの推進

（4）職員の資質向上への取組

職員の業務意欲高揚と施設利用者に対するサービスの質を高めるため、各種研修を実施する。

- *環境研修、安全研修（消防訓練等）、接遇研修、コンプライアンス研修、専門知識育成のための実務研修など

(5) 会議等

組織運営に必要な各種会議を実施する。

*理事会、評議員会、各種専門委員会等

(6) 他団体との協力・支援

加盟団体をはじめとする競技団体やスポーツ団体、その他関係団体との連携を図り、京都市におけるスポーツの振興・普及につなげる。

また、京都市等が推進する様々な取組や各種大会実行委員会に参画する。

*京都マラソン実行委員会 *大相撲京都場所実行委員会

*市民すこやかフェア実行委員会 *人づくり21世紀委員会

*ワールドマスターズゲームズ2021 関西京都市実行委員会

*京都の体育団体とプロスポーツ球団との懇話会 など

(7) 非外郭団体化（自律化）に向けた準備（新規）

京都市の「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画に基づいた外郭団体のあり方についての抜本的な見直しが行われ、本会においては公共分野等の担い手として自律的に活動すべき団体であるとの方向性が示されていることから、本会においても事業の質及び市民サービスの質のさらなる向上を目指すとともに、公益財団法人として経営基盤の強化を図り、自律化に向けた準備を行う。